

令和5年留萌市教育委員会第8回定例会会議録

- 1 開 会 日 時 令和5年8月21日（月）午後1時00分から
- 2 開 催 場 所 留萌市役所 第2委員会室
- 3 出 席 者 教 育 長 高 橋 一 浩
委 員 西 川 知 恵
委 員 松 村 香 里
委 員 山 本 浩 俊
委 員 室 本 直 俊
- 4 出席事務局職員 教 育 部 長 柴 谷 理 意
教 育 政 策 課 長 佐 伯 忠 昭
生 涯 学 習 課 長 伯 谷 英 明
子 育 て 支 援 課 長 中 村 美 幸
子 ども 発 達 支 援 セ ン タ ー 長 五 十 嵐 聖 哲
学 校 給 食 セ ン タ ー 長 松 本 洋
学 校 教 育 専 門 指 導 員 長 尾 真
教 育 政 策 課 企 画 総 務 係 長 塚 田 直 樹
- 5 傍 聴 者 3名
- 6 教育長の報告の要旨 別紙のとおり
- 7 議 事 日 程 別紙のとおり
- 8 議題及び議事の概要 別紙のとおり

令和5年留萌市教育委員会第8回定例会 教育長業務報告

(自 令和5年7月31日 ～ 至 令和5年8月20日)

月・日	時 間	場 所	業 務 名
7月31日(月)	10:00	市長室	JET絆大使任命書伝達
	13:00	第2委員会室	令和5年留萌市教育委員会第7回定例会
	16:30	海のふるさと館	留萌振興局との留萌市活性化懇談会
8月1日(火)	16:00	市長室	東光・緑友BBC表敬訪問
8月18日(金)	13:00	留萌市中央公民館	令和5年度留萌市平和祈念式典

発言者	発言内容
高橋教育長	<p>ただ今から、「令和5年留萌市教育委員会第8回定例会」を開催いたします。</p> <p>なお、本日の議事署名委員は「松村委員」にお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>はじめに、教育長の業務報告になりますが、お手元に配布しております資料に基づきまして、報告いたします。</p> <p style="text-align: center;">～ 業務報告 ～</p> <p>只今の報告に対しまして、質疑等はございませんか。それでは、議案審議に入ります。</p> <p>日程1、議案第14号「令和5年度教育費補正予算について」を議題といたします。</p> <p>事務局からの説明を求めます。</p>
松本学校給食センター長	<p>日程1、議案第14号、令和5年度教育費補正予算につきまして、提案理由の説明を申し上げます。</p> <p>補正の内容につきましては、学校給食費に新たに「学校給食食材費高騰対策支援金」6百万円を計上しようとするものであり、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用により、留萌市学校給食会の食材費を支援し、保護者負担の軽減を図ろうとするものでございます。</p> <p>なお、歳出に係る歳入の補正は、資料下段に記載のとおりでございます。</p> <p>以上、議案第14号の説明といたしますので、よろしくご審議の程、よろしくお願いいたします。</p>
高橋教育長	<p>質疑に入ります。</p> <p>只今の説明に対しまして、ご意見等はございませんか。発言がなければ、議案第14号は、このように決定させていただきます。</p> <p>続きまして、日程2、議案第15号「令和5年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載に係る同意について」を議題といたします。</p> <p>事務局からの説明を求めます。</p>
佐伯教育政策課長	<p>日程2、議案第15号、令和5年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載に係る同意につきまして、ご説明いたします。</p> <p>調査結果の公表についての取り扱いにつきましては、別添1実施要領6ページの(5)の「調査結果の取扱いに関する配慮事項」に記載されておりました、その取り扱いがアの「教育委員会及び学校による調査結果の公表」の(ア)の②により、北海道教育委員会は、同意が得られた市町村に</p>

	<p>つきましては、別添3の基本フォーマットにまとめられ北海道版結果報告書として公表することを予定してございます。</p> <p>このことにつきましては、北海道教育委員会から7月31日付け通知により、留萌市の結果を公表することの同意についての照会があり、8月28日までに回答することとなっており、北海道版結果報告書に留萌市の結果を掲載することに対する同意について、教育委員会にお諮りするものでございます。</p> <p>以上、議案第15号の説明とさせていただきますので、よろしくご審議のほどお願い申し上げます。</p>
高橋教育長	<p>質疑に入ります。</p> <p>只今の説明に対しまして、ご意見等はございませんか。</p> <p>発言がなければ、議案第15号は、このように決定させていただきます。</p> <p>続きまして、日程3、議案第16号「留萌市学校給食センター運営委員会への諮問について」を議題といたします。</p> <p>事務局からの説明を求めます。</p>
柴谷部長	<p>初めに、今回御提案申し上げます新たな学校給食事業の導入計画案の留萌市学校給食センター運営委員会への諮問についてでございますが、これまで本計画案の検討を進めるにあたり、昨年11月から、前回7月の定例会まで9回、約9か月間にわたり、検討状況等のご報告、素案、改定案の協議、ご審議をいただき、その間、教育委員会の様々なご意見等により、都度、修正や資料の追加等も加えた中、今回、改めて留萌市学校給食センター運営委員会への諮問についてお諮りするものでございます。</p> <p>今まさに喫緊の課題として、調理員体制の確保ができず、安定的な給食の提供が困難となってきている現状の中、また、アンケートによりアレルギー対応を求める声も一定数おり、深刻に悩まれている保護者も確認しており、さらに物価高騰による給食費の値上げの判断も差し迫っており、施設維持改修に多額の費用を要する。</p> <p>こうした多くの課題が浮き彫りになっている現状を目の前にして、事務局といたしましては、将来的に安定した給食の提供を続けていくには、今回の導入計画案が最善の方法であると考えているところでありますが、まずは、学校給食センターの運営・管理の審議を職務とした、運営委員会に諮問を行い、意見をいただいた中、今後の教育委員会における議論を進めていきたいと考えているところでございます。</p>

	<p>それでは、この後の説明につきましては、学校給食センター長からさせていただきます。</p>
<p>松本学校給食センター長</p>	<p>日程3、議案第16号、留萌市学校給食センター運営委員会への諮問について、提案理由の説明を申し上げます。</p> <p>諮問事項につきましては、学校給食事業の民間委託化についてであります。</p> <p>諮問理由につきましても、これまでも説明しておりますが、現在、留萌市学校給食センターは、様々な課題を抱えており、築30年以上が経過する施設の老朽化に対しては、施設を維持管理するための大規模修繕等に多額の費用が必要になるものでございます。</p> <p>また、給食調理体制の安定的確保についても課題となっており、現在も予定している調理員は、約半数しか確保できておらず、このことによりまして、栄養教諭が作成する献立メニューに十分に対応することができず、調理作業の比較的負担の少ない揚げ物などを対応しているところでございます。</p> <p>毎食の給食提供につきましては、職員総出で調理作業を行っておりますが、調理員の疲労度合いが高く、休暇も自由に取得できないなど、労働環境の悪化に対する対応が追いついていない状況でございます。</p> <p>学校への給食配送につきましても、指定の時間を超えて遅配となることが多くなっております。</p> <p>日々の調理作業は危機的な状況であり、毎日の給食が無事に子どもたちへ供給されるのか、それとも供給できないのか、センターを預かる立場として、毎日非常に危機感を持っているところでございます。</p> <p>また、物価高騰に伴う給食費への影響につきましては、一部、野菜類などについては、価格が安定してきておりますが、依然として、冷凍食品、加工食品、食用油などは高値で推移しており、現時点での食材費の実績値につきましては、計画書に記載の影響額を大きく上回っており、次年度以降の給食費保護者負担額の影響も避けられない状況でございます。</p> <p>さらには、給食費の管理徴収に伴う教職員の業務負担軽減を図るための学校給食費の公会計化の導入や、食物アレルギーへの対応として、現在は、国の示す対応レベル1の食材の明記や、レベル2の弁当持参までの対応となっておりますが、レベル2までの対応につきましては、基本的に保護者や児童生徒、学校においての対応であり、非常に負担が大きいことから、学校給食センターの施設としての食物アレルギー対応について、対応レベルの引上げを含め、</p>

	<p>検討をしてきたものでございます。</p> <p>児童生徒数につきましても、出生率の低下や若年層の人口流出などにより、毎年度、予想を上回る速度で減少が続いております。</p> <p>子どもたちに、持続可能で安心・安全な学校給食を提供するため、民間事業者に施設を有償譲渡し、学校給食事業に民間活力を導入することにより、施設の効果的な余剰能力の活用など、民間事業者と市が連携協力して、子どもたちへ給食を提供することが最善の方策であると考えております。</p> <p>また、事業を委託化することによりまして、施設の大規模修繕費用などが不要となることから、これらの効果額を活用し、保護者負担額の維持軽減や、地元食材の活用拡大など、学校給食事業のサービス拡充を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>今回、諮問といたしまして、議案提出するにあたりまして、これまでも定例会におきまして、委員から出された意見などを事務局内で協議検討し、その都度、導入計画書を修正してきたものでございますが、今回、議案提出することにより、別紙「新たな学校給食事業の導入計画書(案)」を一部内容変更したものでございます。</p> <p>変更した箇所につきましては、これまで市が栄養士等を配置し、学校給食事業の民営化を図ろうとしておりましたが、「留萌市学校教育振興計画後期計画」及び「第4次留萌市食育食推進計画」における栄養教諭の位置付けや任務などを含め、学校給食法に掲げる目標の達成、学校における食育指導、献立作成など、学校給食の管理と食に関する指導を一体的かつ効果的に実施するため、市が独自に栄養教諭を配置する計画としたところでございます。</p> <p>このことなどを含めまして、学校関係者や保護者の代表、地域から選出された委員で構成される学校給食センター運営委員会におきまして、様々なご御意見がある、新たな学校給食事業の導入計画(案)につきまして、意見を伺いたく、再度諮問として議案提出したものでございます。</p> <p>以上、議案第16号の説明といたしますので、よろしく御審議のほどお願い申し上げます。</p>
高橋教育長	<p>それでは質疑に入りますが、ただいま、前回の計画を一部修正したという説明でございました。</p> <p>まずはその部分に対して、ご意見等はございますか。</p> <p>室本委員。</p>
室本委員	<p>栄養教諭になったのですが、確保はできますでしょうか。</p>

高橋教育長	事務局。
松本学校給食センター長	<p>これまでの定例会の議論等をお聞きいたしまして、やはり、この学校給食事業を進めるにあたりましては、栄養教諭の食育指導とか、学校給食の管理など、非常にこれまでも意見を様々いただいたところでございます。</p> <p>そのことから、我々といたしましても、栄養教諭は非常に重要な立場にあるものであるということを改めて認識をいたしまして、このたび、栄養教諭を採用し、配置をしようとするように計画変更したものでございます。</p> <p>また、栄養教諭の配置につきましては、職員採用と同じように公募をして、募集を回ってまいりたいというふうに現時点では考えているところでございます。</p> <p>以上です。</p>
高橋教育長	室本委員
室本委員	<p>前々から言っていたのですが、かなり難しいというような答弁が続いていて、ここで栄養教諭になるのは良いのですが、もうこの時期ですよ。当然、採用試験も始まっていると思うので、来春という形で行けば、スケジュール的にちょっとタイトかなというようなイメージがあるのですが。</p>
高橋教育長	室本委員
松本学校給食センター長	<p>栄養教諭を市が採用し、配置をするということにつきましては、まだ、この学校給食事業の委託化につきましては、導入が決まったわけではございませんので、現時点においては、まだ公募等を行っている状況ではございません。</p> <p>そして、今、確保が困難という部分で、ご質問があったかと思いますが、栄養教諭の道内の主な就職先については、当然、北海道教育委員会となるところでございます。</p> <p>毎年その採用倍率は10倍前後と聞いております。</p> <p>年度の採用者は、A採用と言われる次年度の採用が確定したものが約15名、次の年の採用が確定しているB採用が15名ということで、約30名の狭き門というふうに聞いております。</p> <p>したがいまして、学校栄養教諭の免許状を有していても、栄養教諭として勤務しているものというのは、採用倍率から考えると約1割程度というふうに考えることができるかと思っております。</p> <p>私どもといたしましては、潜在的な栄養教諭などの掘り起こしも含めまして、栄養教諭の免許状を持っているものを採用したく、現在考えているところでございます。</p> <p>以上です。</p>
室本委員	ありがとうございます。わかりました。

高橋教育長	はい、そのほか何か、御意見はございませんか。松村委員。
松村委員	調理員さんの単価を改定は、いつから幾らぐらい上げて、もう募集はかけているのでしょうか。
高橋教育長	事務局。
松本学校給食センター長	<p>学校給食調理員の報酬につきましては、これまで1時間当たり922円ということで、単価設定していたところですけれども、こちらを改定いたしまして、今年8月1日から949円に改定したものでございます。</p> <p>それに伴いまして、ハローワークも含めて募集活動しているところでございます。</p> <p>8月から949円に賃金改定したところですけれども、この前、国の最低賃金が改定になりまして、北海道については960円というふう聞いておりますので、またそれらの市の対応も含めまして、賃金がまた更に改定になる可能性があるものと考えているところでございます。</p> <p>以上でございます。</p>
高橋教育長	<p>よろしいですか。そのほか、ご意見ございませんか。</p> <p>計画変更の部分についてのご意見はよろしいでしょうか。</p> <p>私としては、この議案を皆さんにお諮りする前に、特に前回、諮問に反対されていた委員に、幾つか質問をさせていただきたいと思えます。</p> <p>これについては、委員の皆さんの意見を明確にしたいという思いと、今後の議論の展開に重要なことだと思っておりますので、その点、ご協力をいただきたいと思いますので、幾つか委員毎に質問をさせていただきたいと思えます。</p> <p>まずは、山本委員にお伺いしたいのですが、前回の定例会で、「施設を民間に譲渡すること自体に反対である。また、現状の中でやっていただきたい」という旨の発言があったかと思えます。</p> <p>仮に施設を売却しないとした場合、他の自治体で行っているような調理の民間委託になるかと思うのですが、そういう場合であっても、反対、あくまでも直営であるべきという考え方で受け止めてよろしいでしょうか。</p> <p>まずは、その点いかがでしょうか。山本委員。</p>
山本委員	<p>発言の機会いただいてありがとうございます。</p> <p>私は、この新しい学校給食事業の導入計画書にどうしても賛成できない点、今、教育長からお話のあった点を踏まえて、丁度良かったと思うので、ぜひ話させていただきます。</p> <p>それは、去年の10月15日に朝刊に、留萌市、来春、学</p>

校給食センターをコープさっぽろに売却する方向で検討、その中に、現在、少子化でフル稼働できない状況だ。人件費などを含めて、同市の学校給食費は年間9,000万円という、そのことを、かなり具体的に書いてある。この記事についてであります。

私は、この記事について、2点問題を感じております。

1点は、教育委員会で議論されていないという報道先行はもちろんです、教育委員会制度の特徴から、前から言っているのですが、首長から独立されて、本当にこの教育委員会はなされているのか。一切話がなくて、この話が出るってことは、教育委員会の機能としてまずおかしい。

それから、2点目は、先程、報道のあった企業との、どうしても事前の約束事のあったような提案。

それは、9月、12月以降の議会答弁からも、私は、ここは推測ですけども、私自身、人間としてそれは間違っているのではないかと。

事前に、どっかの企業と約束事があったとしたら、私たち教育委員会は、子どもの健全な発展のために、そのための一員としての教育委員として、私は、そういう提案は絶対私は受入れないということが根本にあります。

ですから、誰かもお話ししていたように、課題が一切教育委員会でなくて、私たちが知った11月のときの課題を、一つ一つ解決していこうではないか。それが、今日、私たち教育委員会の出す方向でないかということで、提案はどうしても賛成できないという理由であります。

そして、もう少し話しますと、これは言いたくなかったのですが、教育長と課長と、管内の研究会に行く途中で昼食タイムをいただきました。そのとき、課長がトイレに行った時、教育長は、「新聞に出てしまった。次の日、すぐ市長から電話が来て、大丈夫かって言った」と。それから「留萌市が、色々企業誘致で動いているんですよ」。僕に何げなく言った。でも僕は、教育長は、今の留萌市の現状を考えて、教育委員会で話し合っ、この課題をどうにかしているのではないかと回答を待っていました。

最後に、12月の道議会の浅野議員の質問で、この問題について触れて、道の教育長も答弁しています。

あえて言わなくてもいいなら話しませんが、「市の行財政改革の取り組みとして、効果があると考えられる一方で、栄養管理や食に関する指導の観点から、慎重に検討することが必要である。このため、道教委では、留萌市に対して、学校給食に基づいて、学校給食を実施する場合は、設置者が条例により、教育機関として、共同調理場等を設置し、栄養教諭が献立を、そういうことで、この後も指導・助言をし

	<p>ていきたい。」と言っています。</p> <p>まとめますと、僕は何も偉ぶるつもりもないし、これはもう動くつもりもないです。</p> <p>ただ、教育委員会というのはそういうものでないのかな。どう見ても、新聞からいったら、今日、留萌市の教育委員会が認めていいのでしょうか。私はそこなのです。</p> <p>ですから、そこを抜きにして、ほかの委員が白紙撤回というのは、そういう意味だと思う。ですから、白紙撤回して。何も急がない。市議会議員の中にも、なぜ今急ぐのですかと言っている方がたくさんいる。そこが僕は見えない。</p> <p>だから、理想論を言っているわけじゃないです。</p> <p>先程言ったから言いますけど、調理員不足と新たな学校給食を導入する案というのは、同一の問題じゃないでしょう。もちろん調理員が今いないということで、今どうにかしていかなくちゃという調理員の問題解決。そのことと民間委託することは、全然同一の問題ではないはずですよ。</p> <p>ですから、今、センター長が言ったように、賃金を改定するとか、募集拡大に早急に取り組んでいただいているとか。聞くところによりますと、新聞報道があったから、かえって募集できなかったという地域の方もいますよ。だって、コープに行くって書いてある。だから、今、一般的に色々就職口がないとか、昨日も他の団体の募集が出ていましたけど。</p> <p>だから一概にそういう見方をしないで、このことについては、教育長にぜひお答えしてもらいたい。本当に、企業との事前の約束とか、打合せは無いですか。</p> <p>僕は、もうそのことだけです。以上です。</p>
高橋教育長	<p>今、委員のほうから、議会の答弁でもあったというようなことで、事前に企業との約束があったのかというお話ですけれども、私どもとしては、どこの企業に何をお願いしたいというお話は一切しておりません。</p> <p>議会で、市長部局のほうでお答えしたというふうに思いますけれども、まずは、今有る留萌市の課題を考えたときにその課題を解決できる良い方法がないのかということで、多分、企業誘致も含めて、色々な企業にお話を伺ったのだらうなというふうには思っておりますが、それを、何か約束を取付けたということではないというふうに、私は、思っております。</p> <p>首長からの独立した組織であるのに、この委員会機能としてどうかというようなお話もされましたけれども、私たち独立性を否定するものでもありませんし、独立していると思っております。</p>

	<p>ですので、新聞が報道された今年の10月以降、もう8月ですので、10か月経ちます。</p> <p>10か月の間で、色々と課題についても説明をさせていただきましたし、こちらで考えている委託内容について、皆さんの意見、議会の意見もそうですけれども、聞きながら、当初の考え方とは、かなり計画も変更させていただいているというふうに考えております。ですので、教育委員会を無視しているとか、独立性を無視しているというようなことは、一切無いということで、ここで断言をさせていただきたいと思います。</p> <p>あと、賃金改定にも取り組んでいて、逆に去年の新聞記事が募集しても人が集まらない要因ではないのかというお話がございましたけれども、私が聞いている中では、どこがこの事業を落とすということは別として、もしも大手の企業が参入するようであれば、自分たちも、もしかしたら、そこに正職員として採用されるかもしれないという期待感を持っている人も、市民の中にはいるということも聞いております。ですので、新聞記事が出たことによって募集しても集まらないということだけではないというふうに私は理解をしております。</p> <p>あと、独立性の問題で言いますと、私が逆に申し上げたいのは、独立性を無視していないから、この10か月、色々のご意見を伺いながら計画も変更してきたのであって、独立性を無視しているのであれば、もう民間委託ということ無理やり進めていたのかなと思います。独立性を無視していないからこそ、今日まで10か月かけて議論をさせてきていただいたというふうに、私としては思っております。</p> <p>以上です。</p> <p>今の点についてよろしいですか。山本委員。</p>
山本委員	はい。
高橋教育長	<p>そうしたら、もう幾つか質問させていただいてよろしいですか。</p> <p>あと栄養教諭についてですけれども、前回の発言ですけれども、「授業を行えるのは栄養教諭だけ」、また、「どんなことがあっても栄養教諭でなければ駄目だ」と思っている」というような発言をされております。</p> <p>先程、事務局から、市が想定している委託形態の中でという条件が付きますけれども、市が栄養教諭の免許を有する者を採用するということで方針を変更したというお話ございましたが、この場合でも民間委託では駄目だというふうに考えるのか、やはり直営でなければ駄目だというお考えなのかをお聞かせください。</p>

山本委員	<p>結論から言うと、直営のほうが良いと思う。</p> <p>それは学校との関わりの中で、道費の教職員と同様に学校との調整とか、児童生徒への指導ができるとは、私は思わない。単に、有資格者であればいいという、そういう問題ではないと思う。そして、事前に学級活動だとか、食の授業のとき、事前の打合せだとか、コンタクトをとったり、市の配置であっても、学校の中に居て、連絡をとったり、色々やる中で、僕は。単に有資格を配置すればいいという問題ではないと思っています。</p>
高橋教育長	<p>文科省のほうでも、様々の学級担任ですとか、養護教諭だとか、その他の教員と連携しながら、栄養指導というものを進めるべきというような方針が出されていると思うのですが、学校給食法の中でも、栄養教諭が配置できない場合は、栄養士でも、その趣旨に沿って進めてもらえるのであれば問題ないというふうに書かれているのかなと思うのですが、そこについては、やはり民間委託では駄目で、直営でなければという意見は変わらないということですか。</p>
山本委員	はい。
高橋教育長	<p>わかりました。</p> <p>それと、すいませんまだ何個か質問させてください。</p> <p>施設の老朽化の課題についてですけれども、これは以前に委員のほうからご意見がございました。</p> <p>どんなに「財政負担が重くなっても、市でどうにか予算をやりくりして整備すべきだ」というような意見があったかと思うのですが、この意見については、変わっていませんか。そして、さらに委員会としては、その予算という部分については、考えなくても良いというような意見だということでもよろしいでしょうか。山本委員。</p>
山本委員	ちょっと最後の部分の意味がわからないのですけども。
高橋教育長	<p>もう1回説明します。</p> <p>初めの部分は、よろしいでしょうか。老朽化についてどんなに、財政負担がかかったとしても予算、市が予算をやりくりして実施すべきだと。そういう考えだということでもよろしいということですね。</p> <p>そうすると、委員会というのは、全く予算のことは考えないで、委員会として理想という形を議論すべきだということでお考えだということでも、よろしいですか。</p>
山本委員	<p>そこは願いですけども、学校給食がなぜ教育の一環として位置付けられて、これから担う子どもたちに行政が何を引き継ぐか、そこの見極め。</p> <p>だから、僕は、留萌市の教育委員会は、ぜひ学校給食は直</p>

	<p>営でやって、財政は苦しいけど、そこをやりくりできませんかという言い方。</p> <p>だから財政の細かいことは、僕はわからないけれども、できれば留萌市財政が逼迫しているということもあるのでしょうとは思いますが、その部分は、学校給食の部分は子どもたちのために、ぜひ教育の一環として、どうにかならないかなという、そこは僕の願いであります。</p>
高橋教育長	<p>あくまでも、山本委員の願いであり、考え方であるということですね。</p> <p>それと先程から確認していますが、やはり直営を続けたほうがよいという意見だということですので、前回の委員会でもあったのですけれども、民間委託に頼らなくても安定的に給食提供を続けていける調理員の体制、これについて山本委員として何かご意見をいただけないでしょうか。どういうふうにしたらいいのではないかなというようなご意見をいただけないでしょうか。</p> <p>先程から直営を続けたほうがいいというご意見なので、この民間委託をしなくても、安定的に、給食の提供を続けていける調理員の体制の考え方について、山本委員の考えをお聞かせいただけますか。</p>
山本委員	<p>本当に大変だと思います、調理員さんは。</p> <p>だから、前から言っているように、どうにか民間に頼らないでできる方法をみんなでと言っているのですけども。</p> <p>例えば、令和3年度に11名いましたよね。それが、今8名になった。</p> <p>その経過も今日は聞きたいなと思っていたのですが、本当に何が足りないという、その原因を探って、どうにか知恵を絞って行って、そういう中でも民間委託しないでできる方法はないのかなというのが僕の考えです。</p>
高橋教育長	<p>事務局として、これまでも何回か説明してきていると思うのですが、色々考えたけれども、結果的に、持続可能性っていうことを念頭に置いて考えた場合には、今、事務局のほうで整理して掲げている委託形態が1番良いのではないかなというところで、提案されているわけですので、皆さんから、逆に「そうじゃない」と、「こういうやり方がある」という意見をいただかないと、事務局としても、この委員会の中で、「どうしたほうが良い」という意見、「民間委託にしなくてもこうしたほうが良い」という意見を全然いただけていません。</p> <p>賃金を上げればいいというのは、当然、誰もが考えることで、それは賃金の上げ方がどうかという議論はあるかもしれないですけども、公の立場として上げられる賃金は、</p>

	<p>8月1日から先程も説明ありましたがも上げさせていただいている。あとは、最低賃金で国が動くのであれば、それに連動してまた、市の考え方も変わっていくというふうに思っております。</p> <p>ですので、やはり皆さんから、こういうやり方で考えたらどうかという意見をいただかないと、この議論というのがなかなか進まないですし、議論もできない状況だと私は思っていますので、直営を進めるべきというふうに先程からおっしゃっていますので、直営を進めるべきという考えの裏の調理員の体制確保の考え方についてやはりお示ししていただくべきというふうに私は思うのですが。それを皆さんに聞こうと思っています。</p> <p>山本委員は、現段階では、そういう良い考えは、今持ち合わせていないということによろしいですか。</p>
山本委員	はい。
高橋教育長	<p>あと物価高騰に伴う給食費の影響についてですけれども、直営を続けたほうが良いという先程からの意見なので、私ども事務局としては、来年度、給食費はこのままでいけば上げざるを得ないと考えておりますので、同時並行的に、運営委員会のほうでも、そのような議論を、進めなければならないというお話を前回もさせていただいたと思うのですが、これもリミットがあります。</p> <p>給食費を上げる、上げないと言っても、4月に上げるのに、3月に上げますからというお話にはならないので、ある程度、周知期間を考えると、今年中に、その結論を出さなければならないかなと思っています。</p> <p>ですので、直営を続けたほうが良いという意見ですので、来年度、給食費が上がることもそれは止む無しという意見だということによろしいでしょうか。</p>
山本委員	まだ、考えていません。
高橋教育長	<p>遅くても、給食費上げる、上げないは、今年には判断をしなければなりませんので、判断するのにも、運営委員会で議論する時間というのにも必要だと考えると、もう、その辺についての意見が出ていないと、議論が止まってしまう。</p> <p>このことについて、では止む無しということではないということですか。</p>
山本委員	全く見当もつきません。
高橋教育長	<p>では、食物アレルギーの対応についてですけれども、前回までの発言では、「これまでやってきたレベル2の対応のままで良いではないか」というふうに、私には聞こえておりましたけれども、そういう意見ということによろしいで</p>

	しょうか。
山本委員	市の予算で、別室を作って、やっていただけるなら、そういう予算が可能であれば、やはり大いにやるべきだと思っております。
高橋教育長	今までの議論の中でも、そのような意見も出て、事務局から言ってきたのは、留萌市がそこにお金をかけますという判断ができたとしても、まずは調理員の問題が解決しなければ、対応ができない。だから、先程から申し上げていますように、それが持続可能なやり方なのかと考えたときに、そうではないのではないかとということで、民間に任せたらどうだろう、民間では既にそういうものに対応しているところがあり、課題の解決につながるのではないかとということで、そういう提案になっているということですけれども。
山本委員	いや、特にないですけど。 やれるのであれば、やった方が良いのではないのでしょうかね。それだけです。
高橋教育長	私が今申し上げた、投資ができたとしても、人が集まらないかもしれない。そして、今、高いお金も支払って集めたとしても、今後、人口減少が進んでいく中で、継続的に人を雇用できるのかという問題が大きいという説明をさせていただいたつもりですけれど、その点については、どうでしょうか。
山本委員	何年先でしょうか、持続可能というのは。 どういうことをおっしゃっているのでしょうか。
高橋教育長	事務局として、15人、それが一応目標だということでした。これは、午前、午後を通して働いてくれる人が15人必要だということではなくて、午前だけの人がいれば、午後だけの人、午前、午後通して働く人も合わせての話です。そういうような人数が必要ではないかと。先程来、話が出ていましたけれども、国のほうで最低賃金を引き上げることになった時に、前回の議論にも出たのですけれども、給食センターで働くことを希望される方の中に多いのが、配偶者の扶養の範囲内で働きたいという方が多いというお話もありました。 ですので、賃金がどんどん上がっていくことによる問題、今働いていて、今後も継続して働きたいという人も、余計、時間調整が必要だということになって、今以上に、時間調整が必要になってくるというようなことの議論が前回、あったというふうに思うのですが、その点についてはいかがでしょうか。
山本委員	わかりません。まだ、答えられません。
高橋教育長	先程来、直営でなければ駄目だというふうに、それはわ

	<p>かったのですけれども、あくまでも願いとということですね。直営でなければ駄目だという理由というのは、あくまでも、そうあって欲しいという願いだということによろしいですね。</p>
山本委員	<p>はい、いいです。</p>
高橋教育長	<p>あと、事務局のほうで、この計画書にも書いていますけれども、何点か、課題というのを掲げさせていただいてますけれども、この課題について、今後、直営を続けていくべきというお話なので、直営を続けていく中で、事務局が挙げているこの課題を、どのように対応していったら良いというふうにお考えですか。</p>
山本委員	<p>今日の話を受けて、市が独自に栄養教諭を雇うなら、その部分がなくなるから、これならもしかしたら、食物アレルギーの部屋を作る、その予算で作れるかなって、今、単純に思いました。</p> <p>やはり課題は調理員の問題。調理員の問題と、後は、道具ですとか、機器は全部揃えた。あとは建物だとか、そこが何年先を見込んでいるわけではないし、そこはわかりません、正直言って。</p> <p>だから、やっぱり、来年というよりも、今すぐにでも調理員の問題はどうにかしていかなくちゃいけないと思う。僕は、直営でもやっていけるじゃないかと。あとは、財政の問題ではないかというふうに考えていて、市の財政がどれぐらい、この給食センターの中にやっていただけるのかなというふうに僕は考えています。</p> <p>ですから、特に1番の部分で、お金の部分ですとか、その辺が、何十年先に建物がどうのこうの、この辺では、具体的に機械いつ壊れるのかわかんないし、それはあくまで見込みであってという話もありましたよね。</p> <p>だから、そこのところだけクリアしたら、僕は直営でやっていただきたい。</p>
高橋教育長	<p>直営でやってほしいという願いはわかったのですけれども、先程、私が申し上げたのは、この課題をどうやって対応していきますかということですが。</p>
山本委員	<p>この委員会の中で話合いじゃないですか。</p> <p>だから僕は、委員の誰かは忘れまされたけども、民間委託は白紙にして、この前に出した5つの課題について、ここをこういうふうに改善していき、当面、していこうというものを出していただきたいと、ずっと言ってきたじゃないですか。委員の何人かは。</p>
高橋教育長	<p>事務局として、何回も同じことになるのですけれども、色々考えた結果、今の提案している内容が1番良いということ</p>

	<p>で提案しています。</p> <p>今日まで入れて10か月間議論してきた中で、具体的に事務局に対案になるような議論が、今までほとんどなかったと私は、思っています。</p> <p>10か月かかってないものが、これから話していきましようと言って、何かいい案がこれから出てくるのでしょうかというところがあるのですけれども。</p>
山本委員	<p>結局、企業誘致の中から生まれた学校給食センター。</p> <p>僕は、そのもの自体、そのものが企業誘致の一環として学校給食センターに、焦点が絞られた、</p> <p>だから昨年7月に、幼稚園の問題が出て、そうしたら最近の動向を見ると、1企業の名前じゃなくて、民間委託して、それが高齢者だ。僕はそのことが、許せないですね。</p>
高橋教育長	<p>ひとつ、そのことについて聞きたいのですが、企業誘致から発生したってということは、私たちも言ってきましたし、企業誘致の話から教育委員会としてはどうだってお話もあったのは、それは事実です。</p> <p>それは、当初から私たちは、そういうお話をさせていただいていますけれども、この教育に関する施策というのが、教育委員会からの発案じゃないと議論できないということですか。</p> <p>市長部局から、もしかしたら良いアイデアが出てきたとしても、市長部局から出てきた意見というのは、教育委員会で議論するには足りない。教育委員会で議論すべきものではないという意見ですか。</p>
山本委員	<p>私は、民間委託は反対だって、さっきから理由で言っている。</p>
高橋教育長	<p>理由というか、はっきりとした理由はないですよ。願いですよね。</p>
山本委員	<p>いや、学校給食法との、だからそれは理想っていう、ただ、僕は、学校現場について、市の給食や、子どもたちへの食育プログラムとかは、市が直営でやっていくことがベターというか、そういうことが大事だと言っている。給食も、学校教育の一環であって、留萌市として、留萌市教育委員会として、まずはどうにか知恵を絞って、このままやるべきだと思うし、やっていただきたい。そこだけ。</p>
高橋教育長	<p>あと、先程、課題については教育委員会の中で話し合っていくべきだってお話ありましたけれども、あくまでも、この教育委員会の中だけで、これからも話し合うべきだということでしょうか。</p> <p>我々は、前回もそうでしたけど、今回も、運営委員会のほうから、まずは意見聞いたほうが良いのではないかという</p>

	<p>ことで、諮問というふうに、お話をさせていただいているのですが、委員のこの諮問についてのお考えをお聞かせいただきたいのですが。</p>
山本委員	<p>諮問ですよ。</p>
高橋教育長	<p>教育委員会の中で課題を今後も考えていけばいいというご意見だったので、今後もずっと、この教育委員会の中だけで議論するのでしょうか。</p> <p>私は、この10か月間、色々と事務局から説明があった中で、それに対する対案等が全く出ていなかったもので、そういうこともあって、逆にもう諮問する時期、もっと早く諮問する時期だったのかもしれないですけども、諮問をして、広く、色々な人の意見を聞くべきかというふうに、私は思っていますけど、それに対して、山本委員の意見をお聞きしたいのですが。</p>
山本委員	<p>教育委員会の中で、力不足ですけど、方向性を出さないといけないかなと思っていました。</p>
高橋教育長	<p>いや、教育委員会の中で意見が割れる、それはそれとしてということで、よろしいですね。</p>
山本委員	<p>はい。</p>
高橋教育長	<p>わかりました。山本委員ありがとうございました。</p> <p>次は、西川委員に何点か、お伺いをいたします。</p> <p>前回もご意見の中に、「まずは白紙に戻して、課題とその解決方法について、みんなで話し合いをして、それから進めてほしい。今までも言ってきたけれども、聞き入れてもらえなかった」という発言がございました。</p> <p>まず、白紙に戻さなければ議論ができないということでしょうか。課題等を含めて。西川委員。</p>
西川委員	<p>議論ができないとかではなくて、私は、委員会の中で、一つも、前から言っていますけども、何にも無かったのに、新聞報道があって、不信感があるというようなことが、それがずっとあって、それで、まずそれを白紙というか、新聞報道も無かったことにして、最初から、こういった給食センターに対して、色々あるよということを、この委員会の中で出してもらって、それから、また検討していきたい。毎回ですけども。</p>
高橋教育長	<p>その意見は、変わっていないということですね。</p>
西川委員	<p>変わっていないです。</p>
高橋教育長	<p>私としては、今、この8月に、そのような意見をいただくということは、誠に残念な結果だと思っています。</p> <p>今もおっしゃいましたけれども、課題等について、自分たちに新聞報道があるまで何も説明がなかった。そこが、違和感なり、不信感だというご発言をされましたけれども、</p>

	<p>この新聞報道があつて、今日までの10か月間、課題等についても、説明も事務局からさせていただいてきている中で、先程の山本委員のお話の中でも、それに対する対案だとかという具体的なお考えを全く示していただいていないと。やはり先程も申し上げたのですけれども、そこは発案が教育委員会ではなくて、市長部局の発案だから議論ができないということなのではないでしょうか。</p>
西川委員	<p>はっきり言わせてもらおうと、この報道が出たっていうことは、何回も言っていますけれども、誰かが、新聞のほうに言わないと、スクールランチという言葉は出てこないと思うのですが。</p>
高橋教育長	<p>先程の議論の中でも出ましたけれども、企業誘致という中で、給食も含めて、色々なことを検討している中で、様々な業者からお話を聞いていると思います。</p> <p>そういうお話をしている中で、もしかすると、そのあたりから情報が漏れていったのかもしれないなというふうに、私は思っています。</p>
西川委員	<p>漏れたとしても、私たちには、そういうことがもう少し早く伺ってもいいじゃないかなって思っています。</p>
高橋教育長	<p>ですので、私ども10月に新聞が出たときには、具体的な検討は、教育委員会ではなされてなかったもので、11月以降、色々と私どもの考え方も入れながら、皆さんの意見を聞きながら、少しずつ、委託に当たっての考え方を変えながら、ここまで来ているわけですね。ですので、全く皆さんの意見を無視しているとか、そんなことでは全く、私はないと思っています。</p>
西川委員	<p>無視しているというか、スクールランチを始めますというか、そういうふうに決まったみたいな感じの報道だったので、それで親たちも「もうそうなんだ」と。</p> <p>それからのアンケートであったり、保護者説明会をします。だったら、親たちは、「スクールランチをするんだ。」というふうになっています。</p>
高橋教育長	<p>事務局も、その辺を勘違いされたら困るということで、学校において説明会を開いたり、アンケートをとる際には、これはあくまでも検討段階であるということ、説明会の席では前置きしてしましたし、きちんとアンケートにもそのような文言を入れて、アンケートをとっています。</p>
西川委員	<p>親は、そこはもう決まったというふうに思っている。</p>
高橋教育長	<p>そういう方がゼロだと、私も考えないです。</p>
西川委員	<p>教育長も、前から、「報道は、すいませんでした。先に新聞に出てしまつて」ということは、何回か謝罪してしましたけど、そのことが、本当に私の中では、腑に落ちない。</p>

	今でも。
高橋教育長	今でも、腑に落ちないから、今ある課題とは向き合えないということなのではないでしょうか。
西川委員	そうですね。 だから、最初、少しでも、そういったことが、課題になっている調理員不足とか、10月前に、少しでも給食センターのほうは、こんなに大変だっていうことがわかっていれば、ちょっと私の耳に入っていたのだったら、それでこういった感じでやっていくのかなっていうのもわかったと思う。でもそれが、何にも本当に無く、突然出たということは、不信感しかありません。
高橋教育長	そうしたら事務局のほうで申しあげている課題というのは、作られた課題であって、今存在しないということですか。
西川委員	存在しないということではないですけども、だけど、今このスクールランチ、民間委託にするってなっているいろんなことが課題で出ています。それが少しでもあれば。
高橋教育長	そこを先に説明してなかったのは、私を含め事務局が悪いと思います。
西川委員	だから、そういうふうなことを白紙ではないですけども、それを今のものは、スクールランチというか、それを無くして、もう1回、教育委員会の中で、そういった課題を、センター長からでも良いですから出してもらって、検討して欲しいという私の願いです。 この間の新聞報道にも、私のことが出ていましたけど、本当に私のそれは気持ちなので、全然、何か出してもらって良かったなぐらいにしか。
高橋教育長	何回も白紙に戻したほうがいいのか、先に新聞に出たのが不信感だというだけのお話だけをされてしまうと、私は何か教育委員としての立場のほうが、子どもたちのために何かをするという議論よりも、上回っているじゃないかと思ってしまうんですが。
西川委員	私と山本委員とか、やっぱり反対している松村委員は、私たちは子どものためを思ってやっていきたいという思いがあるので、まだ諮問委員会にかけたり、これを賛成するというのではなくて、もうちょっと色々なことを子どものために、話合いたいです。納得するまで。 納得して、本当に最終的に「駄目だな」と「これではやっていけないな」って思いがあれば、子どもたちのためですよ。 私は今、こういう仕事しているのに、そういう言い方されたら、すごく心外ですけども、子どものためと思って、

	<p>山本委員も、今まで、そういう民間委託はどうだっていうことを言っていると思います。</p> <p>また、教育長とか、部長さんとか、そちらのほうが民間委託、民間委託って。</p>
高橋教育長	<p>先程も山本委員のときから申し上げていますがけれども、そうであれば、民間委託じゃなくても、今の課題を解決できる案を出していただけませんかということですが。</p>
西川委員	<p>それでは、今、人員というか、給食センターの調理員の問題ですけど、私もこういった仕事していたら、留萌市の父兄とか顔が広いというか。なので、会った人とかに、「今、こうやって調理が足りないの、誰かいませんか」と声をかけたり、うちの父兄だったり、うちの職員だったり、そういったところに声をかけて。「誰かに3時間でもいいから、働ける人いませんか」。</p> <p>教育長の奥さんとかも、働いていますか。</p>
高橋教育長	<p>今、働いていないです。</p>
西川委員	<p>そしたら、「給食センターが大変だから手伝ってあげてくれ」とか。そういった人から人への、そういったことでない。</p> <p>「ポスター貼りました」、「960円にしました」「1,000円にしました」と言ったとしても、こんな状況ですよ。</p> <p>私、今、小規模保育しています。これだって留萌萌幼会の人員不足で、待機児童が30何人、40人近いのが、3年間続きました。それで、「小規模保育を始めてほしい」というふうに言われて、それでうちのおたすけのほうから、保育士不足なのに、私を入れて10人の保育士がいます。</p> <p>それっていうのはやっぱり、人と人の付き合いがあって、保育士資格を持って、うち全員保育士でやっているんですけども、そういったところをやっていないと、「ポスターを貼りました」「賃金上げますから来てください」と言っても来ないですよ。今、どこだって人手不足なのに。</p> <p>だから、私は今、ここで提案としては、そういった教育長の奥さんが手伝ってくれるとか、どうしても休みで人が足りないといったら、私だって、出ていったりとか、そういうふう子どもたちのために守ってあげたいという思いがあるから、もうちょっと、真剣に、ここは考えていかないと集まらないと思います。</p> <p>だから、民間委託にしたからといって、それは保障されるんですか。</p>
高橋教育長	<p>事務局から、今まで、説明させていただいているのは、先程もお話ししましたがけれども、市が直営でやっていたら、必ず夏休みだとか、冬休みだとかがあります。</p>

西川委員	<p>それが良いという人もいます。子どもが小さいからそういったところで働ける。</p> <p>それで賃金を上げたとしても、130万円の扶養の範囲で、土・日、祝日は休みですし、週に5日働いたとしても、130万を超えることはないと思います。春休みもあつたりとかすると。だから働きやすいと思う。幾ら賃金を少し上げたとしても。</p>
高橋教育長	<p>事務局、どうでしょうか。これから最低賃金も上がっていくのですが、その辺、配偶者の扶養には、全くかからないというような見立てででしょうか。</p>
松本学校給食センター長	<p>調理員不足の問題についてですけれども、先程から、お話ししているとおり報酬を若干ですけども、8月に上げさせていただきました。その中で、報酬が上がることによって、配偶者の扶養の範囲で働くということができなくなってくる可能性が高くなるのではないのかなというように考えていることから、我々としては、調理員の報酬を、今もらっている収入よりも高く格付をしなければ、なかなか確保することは難しいのではないかなというように思っていますし、報酬だけを上げた場合につきましては、今言ったとおり、働く時間数とかが相当制限される。そういった中で給食センターを回さなきゃならないとなると、非常に難しいかなというように考えているところでございます。</p> <p>そして、先程、人を集める努力というところでご提案がございましたけれども、我々給食センターの職員、調理員を含めまして、非常に危機感を持っているということも含めて、声掛けできるところは、しっかりと声掛けをしながら、例えば、職員の配偶者などにも手伝ってもらえないかなどということも含めまして、色々と声掛けできる場所には声をかけていますが、なかなか採用には結びついていないというところでございます。以上です。</p>
西川委員	<p>それを拡大して、市役所の職員とか、そういったところで、もっと幅を広げてやっていって、どうしても駄目だっというのであれば、あれですけど、そこら辺、もうちょっと努力して欲しいなと思います。</p>
松本学校給食センター長	<p>そういった周知活動につきましては、市のデスクネッツという職員向けのパソコンがありますが、そちらについて職員の皆様にもご協力いただけないかということで、これまでも周知、募集はしているのですが、なかなか実績に結びついていないというのが現状でございます。以上です。</p>
高橋教育長	<p>今の話も、一つありますし、私としては、色々な方に声掛けして、手伝っていただける方に手伝ってもらおうというのは、先程も、もう進めているという話もありましたけど、</p>

	<p>それは西川委員の意見として、私も否定するものはありません。</p> <p>ただ、急場しのぎで、それはいいのですが、それが先程から私が申し上げている持続可能な給食体制になるのですかというところから、民間委託がやはりいいのではないかとというふうに申し上げております。</p>
西川委員	<p>民間委託にしたからって、それが本当に集まるかというのは、保障は何もないですよ。これだけ人が足りないのに、どこから民間委託の人は連れてくるのですか。</p>
高橋教育長	<p>先程も少し話しましたが、今回の提案内容というのは、まず、民間に施設を売却することを前提にしています。売却しなければ、今までどこの市町村もやっているように、調理業務だけお金を払ってやっていただけませんかという委託になってしまうのです。ですが、施設を売却することによって、買った事業者が、その施設を給食事業以外にも使ってもらえるようにしたいという考えがあって、売却するという考え方になっています。給食以外のものにも業者が手をかけるということは、その分、長く働いてもらわなければならない、ある意味、一定数、正職員だったり、長時間働いてもらう人も必要になってきたり、長時間働けなかったら、本当に何時間って時間を区切って働いてもらう人を多分、民間は募集をかけると思います。</p> <p>ですので、自由な使い方ができるという面で、夏休み、冬休みとかある市の直営での使い方よりも、もっと使い勝手が良くなることによって、正職員とかというところの芽が出てくるのではないかとということで、直営で続けるよりは、そのほうが働く人にとっても有利ではないか、それによって、働きたいという人も出てくるのではないかという思いがあっての提案だということでございます。</p>
西川委員	<p>売却してしまって、もしも買ったところが、「もう採算が合わない。子どもも減ってきて」となったら場合、色々な事業を今、展開していくというのはわかります。</p> <p>でも、今度子どもに対して、「それがどうかな」というがあるし、色々なことで、売却ではなくても良いのではないかと、私は思います。</p>
高橋教育長	<p>今の事務局の考え方は、売却をすることによって、色々な選択肢が業者から出てきて、働き方も多様な働き方ができるということが、一つの魅力になるのではないかと考えてについては、全くそうではないってということではないと思うので、そういう考えのもとで今、進めているということで、理解をいただけないかなと。</p>
西川委員	<p>でもまだ、私は話し合いというか、課題をどうするかと</p>

	<p>言われたら、それは今、答えられるものもあるかどうか分からないですけども、まだやっぱり、最初に出たというところがあるので、気持ち的には、もう少し話し合いの時間というか。</p> <p>今、どうして4月に向けてなのかというのも疑問です。</p>
高橋教育長	<p>4月に向けてというか、まだ皆さんが、この意見に賛成するという表明もされていませんし、もし今、諮問をして良いとこの場でなったとして、答申が運営委員会から帰ってきたときに、「こういうことに配慮すればいいじゃないですか。」など、もしそんな意見が来たとしても、もう一度、この施設を売却することについての意見を、またこの場でお聞きすることになります。ですので、あくまでも私としては、幅広く色々な方の意見を聞く意味でも、諮問したほうが良いのではないかと。</p> <p>諮問したからといって、それが決定するわけではないということ、そのあと、また議論をする場所があるということを理解していただきたいなと思うのですが。</p>
西川委員	<p>まだでもちょっと、私としては、時間が欲しい。</p>
高橋教育長	<p>では、まだ諮問については。</p>
西川委員	<p>まだもう少し待つて欲しいっていうか、今言ったようなことをみんなで話し合せて、色々そうやって聞きましょうと。10か月経っていると言われたそうですけど、私は、何回も同じことを今までの10回の中で結構言っています。白紙に戻してほしいと。</p>
高橋教育長	<p>白紙に戻さないと、課題の議論はできないですか。</p>
西川委員	<p>できないですかというか、気持ち的に。</p>
高橋教育長	<p>いや、気持ちの問題ではないと思うんですよ。</p>
西川委員	<p>気持ちの問題ではないかもしれないですけど。</p>
高橋教育長	<p>子どもたちのことを考えるなら、少しでも議論を煮詰めて、早いうちに結論を出してあげるっていうのが、子どもたちのためになるのかなと思うんです。それを、白紙に戻して、1年、2年かけるべきじゃないかと言われると、そこは、私はちょっと違うのかなと。</p>
西川委員	<p>1年、2年とは言いませんが、来年の4月を目途にというのは、まだ早いではないかなと。だからもう少し、何ていうのだろう。</p>
高橋教育長	<p>今後、色々な対案等についての意見も出し、考えていただけるということですね。</p>
西川委員	<p>私なりに。</p>
高橋教育長	<p>もう何点か確認したいのですが、先程、山本委員にもお聞きしたことですけれども、施設の老朽化の課題について、それはあくまでも市がきちんと予算をやり繰りしてや</p>

	るべきだと、先程、山本委員からご意見ありましたが、その意見については、同じ意見ですか。
西川委員	そうですね。
高橋教育長	同じ意見ですね。 あと給食調理体制については、先程、言ったようなことが一つの意見だということですね。 あと物価高騰に伴う給食費の影響ということですが、前回の定例会の中で、委員のほうから、「もし給食費を上げたとしても、親としてはこれだけ物価が上がっているのに、給食費が上がっても、当然だというふうに納得をされると思う」というご意見だったのですけれども、その意見は変わっていないですか。
西川委員	変わっていません。
高橋教育長	であれば、来年度、民間委託にならないとすれば、前回もお話ししましたが、給食費を上げるということで進んでいかなければならないかなと思うのですが、それはもう止む無しということでしょうか。
西川委員	はい。
高橋教育長	あとアレルギー対応についてですけれども、山本委員からは、「これまでのレベル2の対応のままでいいのだと。できれば、お金をかけられるのであれば、直営でやってほしいけど」という、先程の意見でした。 これについて、西川委員はどうですか。
西川委員	それも、私もできるのであれば、みんな色々なアレルギーを持っていますから、やってあげたほうが良いかなと、子どものためにと、思いますけれども、それが民間化になって、どこまでできるかというのも、まだ保障されていないと思うし、そこら辺も疑問です。
高橋教育長	先程も言ったように、民間では、もう既にそのような代替食の提供だとかをしているところが何社もあります。
西川委員	でも、お金がかかりますよね。すごいコスト、コストというか。
高橋教育長	それを、お金がなるべくかけないような仕組みができないのかってということで、民間委託の中でそれができないか、そのコストを抑えた中でできないかというところを、今、事務局のほうで検討しているという状況なので。
西川委員	だったら、市のほうも、そういうふうにはできないかと、私は思います。お金をかけないで、何とかならないかって。
高橋教育長	全部、色々な議論を詰めていくと、私が申し上げたいのは、やはり、それは持続可能ですかということに全部繋がってくると思います。今、「わかりました。アレルギーの設備は、留萌市でお金を出します」、「大規模改修もわかり

	<p>ました。お金を出します。」と、もし決定したとしても。先程から言っているように、直営でやっていった時に、ずっとこの先、直営でやったから人手が確保できるのかというところが、絶対にまたネックになってくるはずですよ。</p> <p>人口減少は、これから先も多分続くと思います。</p> <p>民間でもパートさんを確保しようとした時に、なかなか確保できないという現状がある。</p> <p>その中で、市が持続可能な学校給食を提供するために、どんどん民間のレベルよりも、さらに市として、それを上回った賃金を出して、そこを確保するということについては、民間企業への配慮というものも、市としては必要ではないかなという思いがあるので、持続可能性を考えたときには、やはり人の確保が問題になるので、直営は難しいという考え方だということは、理解をしていただきたいなと思います。</p>
西川委員	<p>直営で難しいとなると、そんなにアレルギーの子といっても、これからも減少で、減っていくと思う。</p> <p>だからそれは、今の潮流の中で、一定レベルで全員に、細かくアレルギー対応っていうのは、無理かなというふうに思います。</p>
高橋教育長	<p>わかりました。レベル2の対応のままでいいじゃないかというご意見だということですね。</p>
西川委員	<p>はい。</p>
高橋教育長	<p>あと、先程もおっしゃっていたので、諮問については、まだ議論が尽くされてない考えだということですよ。</p>
西川委員	<p>はい。</p>
高橋教育長	<p>わかりました。ありがとうございます。</p> <p>そうしたら、松村委員に、何点かお聞きしたいと思います。</p> <p>今、お2人にお話聞いた中で、やはり当面、直営を続けるべきというご意見だったのかなと思うのですが、松村委員は、この辺の考えについて、どのようなお考えでしょうか。</p>
松村委員	<p>私も、理想でいえば、直営、市がやるのが1番というのは、当然だと思っているけれども、別に私は、民間に委託するのが反対というわけではなく、もっと不安を拭ってからでもいいのかなと、今そんなすぐではなくても。</p> <p>例えば、調理員さんが足りない、先程、西川委員もおっしゃっていましたが、例えば、市役所の中で職員さんに周知しているとは言っていましたけど、例えば小学校の親とか。例えば夏休み、冬休みに子どもが家にいるから、休みになるのは、ありがたい人も多分いる、沢山。子どもが</p>

学校に行っている時だけ働きたいお母さんも、いっぱいいると思うんですよ、小学校とから、中学校とか。

そういうところに、求人のお便りみたいなものを配付してみるとか。

今、賃金上げた。

8月から賃金上げて、今日は8月の21日ですよ。21日間で、誰も来ないと結論を出すのも早いというのも思っていますし、例えば1か月ではちょっと短いですけど、2〜3か月、募集かけてみて、それでも人が来ない。じゃあ、どうしようという議論があってから、先に進むというので、良いじゃないかなと思っています。

それで、どうしても無理だってなった時に、別の会社という選択肢があるというのも理解できるし、ただ、親はどこが作ってくれるか、もちろん市が作ってくれるのが1番安心ですけど、どこが作ってくれても、給食がちゃんとある。大体今ぐらいの個数が、多少、物価で上がるというのがあるのは仕方ないと承知しているし、ちゃんとした給食が食べられるのと、安心安全。

安心安全な給食というと、やっぱり民間だと、「どこまで私たちに情報開示してくれるのか」とか。例えば、民間委託した時に、誰が、中の監督というか、例えば、チェックリストがあって、ここは基準どおりできているのか、できていないのかとか、チェックする。

今でいうと、センター長みたいな人が、1か月に1回なり、何か月に1回チェックするとか、そういう細かい条件みたいなのも、「ちゃんと有ります」というのを提示してもらって、それで、「こういう財政で厳しいです。なので、民間に委託します。」ならわかるけど。

やっぱり、私も親なので、新聞を見て、「えっ、売却」「給食では無くなっちゃうんだ」って思ったんですよ、率直に。

「違うところを作ることになるなんて、私は聞いていないけど」と思って。だから、そういう親がいっぱい居て。

アンケートも回ってきましたけど、結局、「給食は、ちゃんと出るし。だったら、どこでも良いわ」という、あんまり無関心な親もいるし。

例えば、何かを建てますとかだと、住民説明会は、1回や2回じゃないじゃないですか。

やっぱり、みんなに納得してもらって、話を進めるのが大事だし、アンケートも1回して、「みんなが納得しているんだ。」という判断で良いのかなというの、そこも疑問なので。

私も端から反対ではないですけど、まだ調理員さんが、もし集まったら、もうちょっと継続できるじゃないです

	<p>か。</p> <p>建物は老朽化とか、また、追々予算がおりるのか、おりないのかとか、どこをどういうふうに改善しないといけないのかとか、色々あると思うけど、せっぱ詰まっている順番、選択肢はあるでしょうし、そういうのも順番、段階があって良いのかなというふうには思っています。</p>
高橋教育長	<p>先程の質問の中で答えたのですが、あまり時間はないです。</p> <p>もし、来年度委託しないとしたら、今いただいている給食費では、もう間に合いません。市役所が物事を進めるときには、「値上がりします。」という、最低限3か月前には、その方針を皆さんにお知らせしなければならないという立場で、今まで市役所は動いてきています。</p> <p>ですので、もし来年の4月から上げなければならないことになった時には、今年の12月には、そういうお話を外向けにしないとならないという状況です。</p> <p>そのため、教育委員会の手続きも必要ですし、運営委員会の手続きも必要となります。</p> <p>ですので、この12月に公表する前に、そういう手続きを踏まなければならないということがあるので、実は、「まだ8月でしょ」と言うかもしれないですが、実は、あまり時間はない。ですから、早め早めに物事を決めていかなければ、そういう決定も、どんどん遅れていってしまうところは、理解をしていただきたいと思います。</p> <p>あと、今、アレルギー対応を進めるに当たって、色々チェックリストとかいろんな話もしていただいたので、その辺、何か事務局として考えていることありますか。</p>
柴谷部長	<p>アレルギーのみのチェックリストということではないのですが、調理業務を進めるに当たって、当然、衛生管理ですとか、そういったことにつきましては、仮に民間委託するとすれば、そういったマニュアルというか、そういったものはきちんとお示しをして、十分協議の上、どのように業務を進めていったら良いかというのは決めていくことは想定しております。</p>
松村委員	<p>マニュアルはあるのは当たり前で、それは守られているか守られてないかが1番問題なので、そこをチェックする機関というか、そこはどうなのかなと。</p>
柴谷部長	<p>日々の業務内容につきましても、きちんとチェックできるように、そのような体制を整えていきたいと思っております。</p>
高橋教育長	<p>あと、確認ですが、調理員の体制については、先程、西川委員がおっしゃったようなことを、まずすべきと</p>

	<p>いう意見だということでしょうか。</p>
松村委員	<p>いや、まだ時給を上げて、募集をかけてもないので、集まるかどうか。</p> <p>「集まらない」と今の結論は、ちょっと早いじゃないですか。やはり何か月か待って、その時給で働けるのかとか。あとは、先程言いましたけど、小学校とか中学校の親御さん。</p> <p>その時間だけ働きたい人は絶対いると思うので、そこもちょっと募集してみるというのも一つの案だとは思いますが、この見えているところだけで。集める、集まらないと言っても駄目なので。</p> <p>そこまでやってみてというのはどうでしょうか。</p>
高橋教育長	<p>事務局。</p>
松本学校給食センター長	<p>調理員の募集の関係でございますけれども、やはり給食センターは、夏休み、冬休み、春休みということで、小さなお子さん、あるいは小学校に通われている保護者のお母さん、お父さんが働きやすい環境でもあるのかなということも踏まえまして、以前に小学校に給食調理員として、求人、募集をお願いしたいということで、文書を色々と考えた時期もありましたが、学校のほうから、学校は求人募集の場ではないということで、お断りされた経過がございましたけれども、改めて、そういったことも含めて、事務局の中で考えていきたいというふうに考えております。</p>
高橋教育長	<p>よろしいですか、今の部分については。</p> <p>あと、アレルギーについては、今、色々なチェック体制をする機関も必要ですよということ、多分、そういう体制をとる機関というの、給食運営がきちんとされているかという中で、今の運営委員会のような組織も残したいというような発言を、今まで事務局がしてきましたので、そういう中で、チェックされていくのかなというふうに思っております。</p> <p>あと、もうちょっと様子を見るべきということだったのですが、事務局が申しております、いろんな課題、これを、今、この委員会で、どうしたほうが良いとお考えになりますでしょうか。</p>
松村委員	<p>話合いは、まだしたいです。「対案がない」とか言われていますけど、こうやって1から10まで、一遍にあるじゃないですか。それもちょっと、難しく、理解するのに。一つ一つの問題が、大きい問題ですし、予算のこととかも、どのくらい出せるのか、どのくらい回してもらえるのか。そういう細かいことも、ちょっとわからないですし、お金の金額だけ出されて、「これは無理です」と言われたら、「そ</p>

	<p>うなの」って、やっぱりわからなくなってしまうので、一つか、二つかずつ、ちょっと細かくというか、わかりづらかった。質問するにも、資料はすごく完璧なのでしょうが、ちょっと専門的だったり、例えば、予算も先程見ましたけど、金額がどのぐらいなのかとか。勉強不足といえそうですが、わかeraないことも多いくて、何を質問して良いかわからない時もあるって、もうちょっと一つの課題をかみ砕いてやってくれた方がありがたいです。今日も、調理員さんの問題が長かったではないですか。そういうふうにしていってもらいたいと思います。</p> <p>急に1から10まで出されて、これしかないのをお願いしますと言われても、理解もできないし、納得もわからない。</p>
高橋教育長	<p>前回とか、前々回も含めて、私のほうからも課題について、わかりづらいつか、議論が足りないっていうのなら、この場で時間をかけて、意見もいただくので、お話しませんかという問いかけもしたのですけれども、結局は意見をいただけなかったという状況ですよね。</p>
松村委員	<p>情報量が多くて、わからないところも多くて。</p>
高橋教育長	<p>もし、わかんないところがあるのであれば、その都度、私は言うていただければなというふうに思うんですけど。</p>
松村委員	<p>自分でも、どういうに表現していいか、わからないことも多くて、あれですけど。わからないことは聞いていかなければならないなど。すみません。</p> <p>ただ、まだ調理員さんのこともそうですけど、結果が出てないこともあるし、例えば、臆測で「人員が確保できたとしても、長い期間、働いてくれるかわからない」。でも、それって未来の話だから、そこにやってみなくては、わかんないことも沢山あるわけで。調理員さんのことですが、もっと積極的に募集したりとか、それこそ声かけじゃないですけど、お母さん・ママネットワークはすごいし、もうちょっとやってみて、それでも駄目だという時に、先の議論があるのかなと。</p> <p>やっぱり基本は、市にやってもらいたいのが根本にあるので。売るのは簡単じゃないですか。売ったらそれまでなので。売る前に、何かできることがあったじゃないのかなと思うのだったら、今、その分、募集にしても、今までしていなかったことをしてみてもいいかなと思う。</p> <p>あと、例えば、今いる8人は大事にしていかなければならない人だから、例えば、センター長とか、もしかしたらグループのリーダーみたいな人がいるのかもしれないけど、民間企業だったら、社長とか、所長とか、店長が面談</p>

	<p>みたいに話を聞いてあげて、その方たちのモチベーションを上げてあげる。例えば、小学校の人がお礼の手紙とか、あまりないじゃないですか。ああいうのもモチベーションが上がるし、もちろんお給料が上がるのもモチベーションが上がると思うし、あと、上の人から、「いつも見てるよ」「ちゃんと一生懸命やってくれてありがとうね」とありがとうねって一言だけでもモチベーションって上がるので、そういうところも、役所はそういうのはないのかもしれないけど、企業的是、そういうところが結構あって、大事な人員は辞めさせないようにする努力とか、もちろん新しく入ってきてもらうためには、時給もあれですし、面接した時に、こういう友人も聞きますよとか、もちろん、そういう話もするし、そういう努力も足りないのかなど。</p>
高橋教育長	<p>多分、面接だとかというのは、もう既にやっているはずですよ。</p>
松村委員	<p>ただ、それ話も、何か数字とか、文字だけの話だけじゃなくて、昨日あったこととかを話すとか、そういうことだけでも全然違うんですよ。</p> <p>コミュニケーション、職場はそういうのも大事だし、何か、どんどん辞めていかないような環境を作る、物理的な関係は仕方ないところもあるけど、コミュニケーションだったり、雰囲気だったり、そういう職場づくりを良くする努力というのが、必要じゃないかなって、これからと思います。</p>
高橋教育長	<p>事務局。</p>
松本学校給食センター長	<p>調理員とのコミュニケーションというのは非常に大事なことだと、常日頃、私も思っております。</p> <p>そのことから毎朝朝の朝礼時には、全員の顔を眺めながら、「体調はどうか」とか、「何か不安な顔してないかな」とか、そんなことを見ながら、目視で体調管理をしている部分がございますし、また、午前中の調理作業が終わってから、今日の調理作業の反省会的なものを昼休みの時間を使ってやっていますが、その時にも、色々と声をかけたりですとか、そして学校給食も、私も調理員と一緒に給食を食べていますから、そのときにはちょっと笑い話も交えながら、いかに楽しく雰囲気を作っていきけるかというのを心がけながらですね、取り組んでいますし、新しく調理員を採用するというのも非常に大事なことですけれども、今いる調理員が辞めないで継続的に働いてもらうことも、非常に大切なものですから、コミュニケーションは、しっかりとっているつもりです。</p> <p>ただし、コミュニケーションをとっても、例えば、旦那</p>

	<p>さんの転勤の都合で留萌から離れるだとか、例えば、親の介護の部分ですとか、そういった部分で止む無く辞める方も最近多くて、なかなかコミュニケーションだけでは人を引き止められていないというのが現状ですけれども、調理員との円滑なコミュニケーションについては、今後も図ってまいりたいと考えております。以上でございます。</p>
高橋教育長	<p>これについては、よろしいでしょうか。</p> <p>松村委員に、最後に聞きたいのですけれども、運営委員会への諮問ということを経理局は考えているのですけれども、ここの教育委員会の委員の意見だけではなくて、幅広く意見をまずは聞いてみようという意味で、諮問してはということなのですけれども、その諮問について何か、ご意見はございますか。</p>
松村委員	<p>外に聞くのは、あれですけど、まだ、議論の余地はあるのかなと思います。まだ先でも良いのかなと思います。</p>
高橋教育長	<p>今、諮問をするのは早いじゃないか、議論が足りてないという意見だということですね。</p> <p>これまで、3人に意見を聞いてきましたが、室本委員、何かご意見はございますか。</p>
室本委員	<p>そうですね。私は、諮問したほうが良いという意見です。</p> <p>前回、平成21年度に給食センター運営会議に諮問した時に、私は諮問される側にいたものですから、その時は、ちょっと時期尚早で、「機械の修繕をしてから、もう一度考えましょう」という形を諮問した立場からいくと、やっぱり、聞いたほうが良いのかなと思います。</p> <p>懸念でした栄養教諭の件は、「栄養教諭等」と記載しなさいと言ったのですけど、それが「栄養教諭」になったとのことで、大分前進したなど。</p> <p>25ページにあるように、民営委託化した場合の事業費の推移及び財政効果も会議の中で、見直してくれという形で、見直していただいておりますので、大分、話は進んできたかなというふうな形で思われます。</p> <p>議論を尽くしたとまでは言いませんけど、もうこれ以上ここでやっても前に進まないのかな。やはり願いと、そういう問題ではなくて、子どもたちのために持続可能な給食センターの運営、給食の提供を考えていかなければならないところに来ていると思います。</p> <p>また、タイムスケジュール的に見ても、来春からやるのであれば、ここでもう諮問しないと間に合わないと思います。</p> <p>本来、道新さんに出たときは、夏休みにかけて移行するような計画であったというふうに私は捉えておりました</p>

が、もし、これがまた延びていくことによって、もしかすると、受託しようとしていた企業が居なくなってしまうのかなというような気がします。

何でも商売ですから、時期を逃すとできないことがいっぱいありますよ。

「あの時、こうやって言っていたけどできない」というのが、出てくると思いますので、何々さんありきじゃないですけど、そろそろちゃんと決めておかないと、学校給食の提供が困難になっていくと思います。

今いる人員でやっているじゃないかという意見も前回ございましたが、かなり無理があると思います。15人で提供しているものが、8人でやると。当然、休みもやらなきゃなんないし、いろんな事情が出てくると思います。その辺を踏まえて、今まで人員を増やす努力をしてきていなかったわけではないと思います。時給も上げておりますし、いろんな手法でやってこられていると思います。

私たちのところでも、昨年、留萌市の委託を受けまして、マイナカードのポイントのPRの形で受託はしました。そして、留萌市商店街連合会という形ですが、そのときも、常用で2人雇うと言われて、一生懸命探したけど、やっぱり扶養の関係でどうしてもできなくて、複数名を雇入れして、それでカバーしたというようなこともあります。

本当に今、人がいないというか、働きたいけど働けないではなくて、「こういう条件なら働きます。」というのがかなり多いです。「扶養の中だけで働きたい。」「いついつ休みがとれなかったら働けない。」というような形がすごく多いと思われまますので。

企業になったから、すぐそれを解決するとは思えませんが、企業の中で色々努力していくことによって果たされていくのかなというふうに、僕自身については思っております。

あと1点だけ懸念があるのは、修繕の話です。修繕の話で、5ページで、結構な金額がかかるというような修繕が、これからは発生するであろうと、2億円近いお金が発生すると。

留萌市でやるのであれば、交付金なりで少しカバーできるのですが、これで売ってしまえば、業者さんがやらなければいけないということになってくると思うので、その辺が、ちょっと引かかる。

ただ、完全受託して通知した時に、条件をちゃんとつけて、「使えるような形で修繕をする」「修繕するに当たっては・・・」とか、当然条件がついてくると思うけど、そこだけが懸念される。

	<p>あちこちの自治体で、「旧小学校をどこどこに貸して、何だかやりました」とか言うのがあったのですが、2年ぐらいで破綻したとかって、よく耳にしたり、目にしたりするものですから、そこだけがちょっと気になることだと思います。</p> <p>諮問については、私は、色々な人の意見を聞くべきだと。以上です。</p>
高橋教育長	<p>今、室本委員からは、この場以外の意見も聞くべきという話がありましたけれども、他の委員の皆様は、議論が足りず、まだ早いというような意見がございましたけれども、今、色々な話が出た中で、どうでしょうか。その意見というのは変わらないでしょうか。</p> <p>まず外の意見を聞いてみようという部分の意見は、西川委員も変わらないですか。</p>
西川委員	<p>なぜ急ぐのかなど。4月から始めるって。</p> <p>先程、室本委員が、企業が待っていて、今、困ってしまうかもしれない、辞めるかもしれないというのも疑問です。</p>
室本委員	<p>私の言いたいのはそこではなくて、企業の話はいいですよ。ただ、給食の提供が今、本当にギリギリでやっているの。</p>
西川委員	<p>ギリギリでやっているのはわかります。</p>
室本委員	<p>では、どうします。</p>
西川委員	<p>だから、もしなった時に、今、大事にしてもらって、でも1人、2人欠けてしまったとしたときには、子ども食堂の人に声をかけるとか、ロコミというところで。</p>
室本委員	<p>ただ、永続的な運営はできないですよ。</p>
西川委員	<p>永続的にできないかもしれないけど、民営化にしても、それは持続的ですかと言われたら、それは保障できないというので、今のところは、3月末までというところで頑張ってもらって、センター長も今いる人を大事にもらっているの、それはすごく良いと思うんです。</p> <p>だから、4月から始めるとかではなくて、もうちょっと話をして、集まるか、集まらないかということだとか、そんな先に延ばしてとか言っていたけれど、そこを4月から急ぐのは、どうしてだろうというのが疑問です。</p> <p>決まっていて、その企業に4月からしますよとあれしているのじゃないかという憶測も聞かれたりするので。</p> <p>そういうところもどうなんだろうと思います。</p>
高橋教育長	<p>もし、来年の4月に、今考えている委託をする場合に、市が売却する金額と、売却することによって、色々な補助金だとか、借金などを返さなければならない部分と、どん</p>

	<p>なふうになるんですか。</p> <p>はい、事務局。</p>
松本学校給食センター長	<p>お手元に資料を配布しておりませんが、施設を売却した金額で得られる資産価値と、色々借金をしながら調理機器などを更新しているものですから、その返済等もごさいますので、売却額と返還額といったものを考えてみますと、令和5年度末で売却をした場合については、その金額は、ほぼ同額になるものと試算をしているところでごさいます。</p>
高橋教育長	<p>1年遅れた場合はどうですか。</p>
松本学校給食センター長	<p>令和6年、令和7年、令和8年ということで、令和5年度ではなかった場合につきましては、売却額よりも返還額のほうが高くなるものと推計をしているところでごさいます。</p>
高橋教育長	<p>市としても、なるべく早く実施したほうが良いという考え方の一つに、今、説明した売却益と返さなければならないお金、これが来年度の初めであれば、まだ釣り合いがとれるけれども、その次の年とか、その次の年になってしまえば、逆に返さなければならないお金のほうが多くなってしまいうというのも、一つのなるべく早く進めたほうが良いという事務局の判断があるものであります。</p> <p>民間が何か決定したものでありきで急ぐということではないということを理解していただきたいなと思います。</p>
西川委員	<p>それは信用していいですか。</p>
高橋教育長	<p>それは間違いなく、5年度でやる場合と6年度でやる場合は、逆転するというのでいいですよ。</p>
松本学校給食センター長	<p>はい、そのとおりでごさいます。</p>
西川委員	<p>それは本当に確定ですか。</p>
室本委員	<p>数字はあるんですか。</p>
西川委員	<p>それを示して欲しいです。</p>
高橋教育長	<p>はい、事務局。</p>
松本学校給食センター長	<p>はい。私も手元にお持ちしておりませんが、委員の皆様にも配布しておりませんが、そういったシミュレーションしたものがごさいますので、機会を見てですね、周知していきたいと思ひます。</p>
西川委員	<p>だから、そういうことをもっと早めに言っていただければ、良かったなと。今、手元に無いからできませんとか、だったら、また来月になるとかになるので。</p>
高橋教育長	<p>そういうことであれば、すぐ皆さんのほうにお渡ししたいと思ひます。</p> <p>暫時休憩します。</p>

	<p>～14時51分休憩～</p> <hr/> <p>～15時00分再開～</p> <p>それでは、会議を再開したいと思います。 今、配られた資料についての説明をお願いします。</p>
<p>松本学校給食センター長</p>	<p>今、お手元に配付いたしました留萌市学校給食センター売却及び返還推移の資料をご覧ください。</p> <p>こちらの表の見方ですけれども、令和4年度末に売却した場合から、令和7年度末に売却したまでの推移を記載しているものでございます。</p> <p>まず、資産残存価格と書いているところがございますけれども、こちらは、いわゆる売却額に相当するものというふうに考えてございます。</p> <p>資産の残存価格資産の売却額につきましては、それぞれ固定資産台帳から土地、建物、建物の改修、調理機器、空調設備につきましてはのそれぞれ減価償却ということも加味しながら、毎年度、土地を除いては、資産価値が減少していくものでございます。</p> <p>したがって、令和7年度までの間でいけば、それぞれ毎年2,000万から3,000万程度、資産価値が落ちているものと認めるものではないかなというふうに思っています。</p> <p>一方、起債等返還対応と書いて黄色くマーカしているところにつきましては、いわゆる市が国などに返還する金額の推移を記載しているものでございます。</p> <p>国庫補助基金等の内訳ですが、国庫補助基金積立につきましては、学校給食センターを建設する際に国からお金を借りておりまして、そのお金を返さなければならないということになります。4年度末ですと480万、5年度末ですと320万、6年度ですと160万、令和6年度で完済というか、無くなるのですけれども、こちらにつきましては、国庫補助を返還するか、あるいは、教育のために、同じ金額を基金として積立てなさいというふうに言われておりますので、例えば、令和5年度末でいくと320万と記載がありますが、これは子どもたちのために、教育の基金を作って、320万を基金に積立てなさいといった金額になるところで、次に、過疎債一括返還と書いてございますけれども、こちらにつきましては、調理機器を平成26年から令和3年にかけて、それぞれ更新をしたものですから、そちらの調理機器の更新に係る、いわゆる借金</p>

	<p>の返済分というふうになるところでございます、</p> <p>あと空調設備につきましては、令和2年に設備したものでございますけれども、こちらも国の補助を使って空調設備を改修しているものですから、当然、こちらのほうの国庫補助も返還の対象になるというふうに考えており、それでいきますと、トータルで、先程も説明いたしましたけれども、令和5年度末で大体、同額ぐらいだというふうに言いましたが、現実的には16万9,000円、市が損をしているような感じになります。</p> <p>しかしながら、令和6年、令和7年となると、市の利益がマイナス1,100万から1,500万程度になるということで、売却額よりも返すお金が高くなるというふうになっております。</p> <p>これが、何故こういうこのような形で逆転するのかといえますと、資産の減価償却につきましては、法定耐用年数なんかで減価償却をしていますけれども、一方、返還額は、過疎債の返還額は2年据え置いて、複数年で返還するというふうになっておりますから、建物や土地の減価償却の年数と、借金を返す年数がちょっと違うものですから、このように年を追えば追うほど、金額が逆転していくというようなカラクリになっているところで、こちらにつきましては、市の財政部局とも十分に協議をしながら試算をしたものでございまして、これについては、他に公開しないようお願いをしたいというふうに思います。</p> <p>以上でございます。</p>
高橋教育長	<p>ただいま売却と返還額についての説明がありましたけど、これについて、何か質問等ございますか。</p>
室本委員	<p>よろしいですか。これ、単位は1,000円ですね。</p>
松本学校給食センター長	<p>申し訳ございません。1,000円単位でございます。</p>
室本委員	<p>空調設備ですが、残存価格は、これで合っていますか。下と合わせているような気がするのですが。減価償却した額ですか。違いますよね。</p>
松本学校給食センター長	<p>空調設備の資産残存価格と返還における空調設備の国庫補助返還金につきまして、こちらのほうにつきましても、補助の所管を所管している財務部局のほうとも、十分に相談をしながら確認したものとなっているところでございます。</p> <p>以上でございます。</p>
室本委員	<p>ごめんなさい。わかりました。</p> <p>これで間違いはないということで、よろしいですね。</p> <p>対応年数と、空調設備の補助金の返す年数は同じという</p>

	<p>形ですね。</p> <p>はい。分かりました。</p>
高橋教育長	<p>そのほか、何かご質問等ございませんか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>今回、私としては、これが始まる当初、諮問については、皆さんにご理解いただけるのかなというふうな考えで取り組みました。</p> <p>先程、お一人お一人に意見をお聞きさせていただきましたけれども、皆さん、まだ議論が足りないというようなお話でございました。</p> <p>このようなお話ですので、議論が尽くされていないということで、これを本日お諮りする状況には至っていないというふうに私としては考えておりますので、この件につきましては、継続審議とさせていただきたいというふうに思っております。</p> <p>これについて何かご意見ございますか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>次に進めさせていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次に進めさせていただきます。</p> <p>続きまして事務局からの報告事項のほうに入りたいと思います。</p> <p>それでは、事務局から報告をお願いします。</p> <p>～ 各課からの報告 ～</p> <p>次回の定例会に向けて、報告してもらいたい事項だとか、資料の提出をお願いしたい事項等はございますか。</p> <p>よろしいですか。はい。分かりました。</p> <p>それとあと私のほうから、連絡をさせていただきます。</p> <p>先程、議論いただきましたけれども、給食センターの件につきまして、中西市長のほうからも教育総合会議を開催させてもらえないかということで、お話が来ておりますので、後程、日程だとかを皆さんのほうと調整させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>そのほか、事務局から何か連絡ございますか。</p>
柴谷部長	<p>ございません。</p>
山本委員	<p>はい。最後に。</p>
高橋教育長	<p>山本委員。</p>
山本委員	<p>今日の議事の進め方には、非常に違和感を感じております。</p> <p>6年目になりますけれども、あのような進め方をされて、まるで尋問されているようでした。何か意図があるのでしょうか。</p>

	<p>私は、真面目に参加してきて、基本的には、しつこいですが、企業誘致の視点がまずいと、最初から言ってきて、だからといって、「何も意見が持っていない」、そういう意見で1人ずつを問い詰めているように感じて、非常に違和感を思っているのですが、教育長さんのご意見をお聞かせください。</p>
高橋教育長	<p>私としては、最初にも申し上げたのですが、この議案をお諮りするに際して、これまで反対意見を言われてきた委員に、皆さんの意見を明確に、今一度させていただきたいと。</p> <p>どこが悪くて、何が、皆さんに納得いただけない部分なのかということ、まずは一人一人、はっきりさせたいと。</p> <p>そのことによって、今後の議論の展開も変わっていくのかなという意味で、お一人お一人に確認をさせていただきました。</p> <p>以上です。</p>
山本委員	<p>わかりました。</p>
高橋教育長	<p>それでは、以上をもちまして、令和5年留萌市教育委員会第8回定例会を閉会いたします。</p>

終了 午後3時25分

教育長

署名委員